

女性同窓生エッセイ一期一会
第8回 榎本美智子さん（72期）

1. 関東同窓会との最初の出会いやきっかけ

同期の関博明さんから関東同窓会の総会へのお誘いをいただいたのがきっかけで、2009年から出席しています。懐かしい仲間との再会があり、在学中には話す機会がなかった方々とも知り合い、在学年は接点がなかった年代の方々とも知り合い、人とのつながりが広がりました。

2. 関東同窓会に想うこと期待すること

初めて総会に出席した頃には想像できなかつたほど人とのつながりが広がったことに驚き、感謝しています。

3. 高校時代一番の思い出

一番の思い出は2つあります。1つはAFS留学で、1972年7月から1973年7月までイリノイ州クリスタルレイクでホームステイしながら高校に通いました。2001年8月に家族で旅行してホストファミリーと再会できたのも嬉しい思い出です。その翌月に同時多発テロが起きたのは衝撃でした。ホストファーザーとホストマザーは他界して、今はホストシスターと時々メールのやり取りをしています。

もう1つは吹奏楽を楽しんだことです。フルートを吹き、3年生のときにはピッコロを吹いたこともあります。卒業後しばらくしてから、1人で吹いていてもつまらなくて長いブランクがありましたが、復活してからフルートの活動が増えて、松奏会の「吹奏楽を楽しむ会」にも参加するようになりました。

4. 近況など

時々翻訳の仕事をしてはいますが、仕事があるときだけですからお小遣い程度で、フルートの活動の方が活発になっています。フルートフェスティバルを聴いていただいたことから、女性同窓生の会で聴かせてくださいという優しいお言葉を69期の池田有美子さんからいただき、2019年4月に演奏しました。仲間の演奏と一緒に聴こうという皆さまの温かいお気持ちを感じながら、101期の山岸麻悠美さんのピアノ伴奏に支えていただいて、楽しく演奏することができました。松奏会の吹奏楽を楽しむ会はコロナ禍で中止が続いていますが、開催されるのが待ち遠しいです。

写真：2019年4月14日 女性同窓生の会にて

